



## 第1期中期目標期間を終えて

平成16年4月1日に国立大学が法人化され、京都大学においても手探りの状態で第1期中期目標期間が始まりました。国立大学時代とは異なる様々な経験を重ねた第1期中期目標期間が平成22年3月31日で終了し、4月1日より第2期中期目標期間に入りました。

今まで、3冊の「理事年次活動報告書」を発刊し、法人化後の京都大学の姿を理事の活動を通してお伝えしてきました。今回、理事の任期である第1期の最後の1年半及び第2期の初めの半年間の状況を、理事の活動報告としてとりまとめました。大学の姿がなかなか見えないという声も聞かれる中、理事や部局の努力により多くの成果が挙げられていることを、本書を通じ皆さまにお伝えすることができれば幸いです。

今、大学は大きな変革期を迎えています。我が国の財政事情は危機的状況に陥っており、大学でも人件費を始め大幅な経費削減を強いられています。そういった中で、京都大学においては第1期中期目標期間の経験や成果を生かし、自己変革と財政事情の変化をリンクさせた施策を実行していきます。そして、世界に誇れる人材の育成や人類への貢献を大学の使命として積極的に果たしていきたいと考えています。

皆さまの本学へのさらなるご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

京都大学総長 松本 紘